

式辞

保護者の皆様が育ててくださった、生徒門の花壇の花々が赤や黄色の美しいコントラストで咲き誇り、まさに春爛漫の頃となりました。

本日、ここに 令和五年度 第四十四回入学式を挙行するにあたり、ご来賓の皆様、そして多くの保護者の皆様のご参列をいただき、新入生 八十一名を迎えられましたことを、大変うれしく、厚く御礼申し上げます。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。小学校での感動の卒業式を終え、本日それぞれに新しい希望に胸ふくらませて真光寺中学校に登校してきたことと思います。

いよいよ中学校生活が始まります。先ほど担任の先生からの呼名に大きな返事で起立する立ち居振る舞いや、引き締まった表情から、中学校生活への意気込みがよく伝わってきます。これからの皆さんの活躍がとても楽しみです。

さて、学校生活を充実したものにするために最も大切なものは、と聞かれるとみなさんは何と答えますか。

私は、仲間だと答えます。友情は喜びを二倍にし、悲しみを

半分にするといっています。さらに、かけがえのない仲間がいれば困難なことも乗り越えていけるものです。今日の入学を機に新しい出会いがいっぱいあります。ぜひ、新しい仲間をたくさん作ってもらいたいと思います。そこで、仲間を作るためのコツを二つお話します。

第一に、あいさつです。明るく笑顔であいさつすることから始めましょう。あいさつは、とても短い言葉ですが、相手の気持ちを一瞬で幸せにすることができます。あいさつをする、しないで格段に差がつかれます。あいさつ上手な人は、みんなから愛されるといっても過言ではないと思います。

第二に、違いを認めるということです。集団で生活する学校には、いろいろな人がいます。自分とは、性格が違う、体格が違う、考え方や、ものの受け取り方、感じ方が違う人がいます。しかし、それが当たり前なのです。違うからこそ面白いし、自分の知らない自分を発見するチャンスがあります。

それを自分と違うからといって批難したり、仲間はずれにするような自分中心にしか考えない身勝手な人にはならないでください。

もう一度言います。友情は喜びを二倍にし、悲しみを半分に

してくれまます。

ぜひ、あなたが仲間の喜びを二倍にし、悲しみを半分にする存在になってほしいと思います。そして、みんなから愛される人になってください。

保護者の皆様、本日はお子様のご入学おめでとうございませす。心からお祝い申し上げます。今日から三年間、大切なお子様を、町田市立真光寺中学校でお預かりいたします。思春期を迎えるお子様にとって、中学校時代は心が激しく揺れ動く多感な時期ですので、保護者の皆様と連絡を密にとり、お互いに連携しながらお子様の力をしっかりと伸ばしていくよう職員一丸となって努めてまいります。ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症が少しずつ収まろうとしている中、本日こんなにも素晴らしい新入生を迎えることができ、新一年生八十一名を加え、全校生徒二四六名で真光寺中学校の新年度がスタートしました。

今後も、真光寺中学校に、皆様方のご支援、ご協力を、よろしくお願いいたします。

それでは、新入生の皆さん、これから始まる中学校生活、新

しい友や先輩、先生との出会いの中で、みなさんが大きく成長
されることを期待して式辞といたします。

令和五年四月七日

町田市立真光寺中学校 校長 矢島 加都美